目次

まえがき

序章　**都市のクオリティ・ストック化の必要性**　9

第1章　**土地利用・緑地・交通システムから見た都市づくりの課題**　17

1-1　スプロールとその社会的費用　18
1-2　自動車依存社会がはらむ問題　28
1-3　人口減少社会における都市の制約条件　37
1-4　水と緑の社会的価値　45

第2章　**日本における土地利用計画の理念と実現手法の変遷**　53

2-1　土地利用のあり方――全体性と個別性の二つの視点　54
2-2　計画実現手法の変遷　55
2-3　交通計画と土地利用計画の一体化　61

2-4 全体性と個別性の調和に向けて 66

第3章

## 諸外国における土地利用・緑地・交通システムの考え方 75

3-1 コンパクト・アーバン・グリーン(ミュンヘン) 77
3-2 立地効率性を高める土地利用・交通の統合策(米国各都市) 85
3-3 街区を形成する伝統的都市空間と現代の住宅団地(パリ) 99
3-4 持続的社会を支える水と緑の広域パークシステム(ボストン) 121
3-5 コミュニティ戦略を担うパートナーシップ(ブリストル) 134

第4章

## クオリティ・ストック化のビジョンと戦略 153

4-1 国土・都市空間戦略の果たすべき今日的役割と方向性 154
4-2 土地利用集約型の交通ネットワーク／コリドー 166
4-3 流域圏プランニングを基盤とした水と緑のコリドーの形成 178

第5章

## 土地利用の集約化とストック化の実現手法 189

5-1 都市のコンパクト化をサポートするクオリティ・ストック化 190
5-2 市街地の撤退・再集結の実現手法 198

5-3 撤退・再集結実現のためのパッケージ 209

補章 現行都市計画が抱える問題点 219

あとがき

索引

執筆者一覧